

佐藤淳一先生による防災教育護馬~逆境を超えていく力を~

11月25日(金)に、佐藤淳一先生をお招きし、防災教育講話を行いました。講師の佐藤淳一先生は、震災当時に石巻市立雄勝中学校に校長として勤務されていました。卒業式の約2時間後、激しい揺れに見舞われ、3階建て校舎は屋上まで津波をかぶり、体育館は土台ごと押し流され、廃墟と化しました。帰宅していた生徒77人は奇跡的



に全員無事でしたが、家族を亡くしたり、家を失ったりした生徒がいました。 淳一先生は、「学校教育に何ができるのか」、無力感にさいなまれながら、生徒たちが身を寄せる避難所を回り、高校の校舎の一部を間借りし、1カ月余り後の学校再開へ奔走したそうです。また、「絶対に誇りと自信を取り戻す」との一心で、廃タイヤにビニールテープを巻いた「復興輪太鼓」を作り、東京駅構内などで演奏を行いました。この演奏をきっかけに、ドイツから招待を受け、復興への願いを込めた演奏を行い、現地で賞賛されました。「復興輪太鼓」は地域の人々を勇気付けただけでなく、雄勝中生が「被災したかわいそうな生徒」から「人々に感謝を伝

え勇気付ける存在」へと変わっていった様子が、熱く語られました。講演の最後に、淳一先生から、「今の「日常」は当たり前ではない、逆境を超えていく力を、今から蓄えてほしい、 君たちならできる」というお言葉をいただきました。

1・2年生の生徒は、小学校の時に、淳一先生の講話を聞いていますが、中学生となった今、改めて話を聞いて、新たな発見や学びを得ることができたようです。初めて話を聞いた3年生は、真剣な眼差しで話に聞き入り、様々なことを感じたようでした。



- ・5年生の頃、初めて淳一先生の話をお聞きして、その頃は、辛いことばかりだったんだな、などと感じていました。しかし、中学生になり、見方が変わると、もちろん辛いこともたくさんある、でも、辛いことばかりではなく、それを乗り越え、どう行動するかなど、いろいろなことが頭をよぎりました。5年生の頃は、生徒の気持ちだけを考えていましたが、淳一先生の気持ちになって考えると、淳一先生の優しさや、生徒を思う気持ちが凄く伝わりました。(1年生)
- ・雄勝中の卒業式が終わって少ししたら、地震が起こり何もかもなくなった。2年前よりもすごく言葉が重く感じました。今の私達と同じ年代の人達が家族を失う辛さ、明日への不安、想像しても分からないくらい辛く大変だったと思います。絶望から立ち上がる姿を見て、自分の人生に何か取り入れられるかと、話を聞いて考えました。震災の記憶は残ってはいないですが、周りの人の気持ち、考えを、私達がこれから伝えていけたらいいと思いました。(2年生)



・自分は、三歳の頃のことであまり覚えていませんが、今日の話を、自分自身に置き換えて話を聞いたところ、雄勝中学校の生徒や職員の皆さんは、たくましさで溢れているなと思いました。もし私がそのような状況であったら、今日聞いたように、強い精神とたくましさではとてもいられないと思います。たくましさとともに、もの凄い行動力があると思いました。自分が家も家族も失ったときに『みんなで太鼓をやらないか。』なんて言われても、絶対にや気にならないと思うし、一人閉じ込もってしまうと思います。その中でも、みんなで『やろう!』ってなれたのは、とても勇気が必要だと思います。

他にも、佐藤淳一先生からの『伝えたい!!』という思いがとても伝わってきて、思わず涙が出て来ることがたくさんありました。今日の話からたくさんのことを学び、それとともに、『たくましく、生きよう!』と思いました。(3 年生)

今年度も此域の専門家の先生による特別授業を実施しました

今年度も,地域にいらっしゃる各分野の専門家の先生をお招きし,特別授業をお願いしました。仲川先生に は、全学年の国語で毛筆を、七戸先生には、3年生の音楽の時間にクラシックギターを、継枝先生には、1、 2年生の体育の授業で柔道の御指導いただきました。

毛筆の授業では、行書の筆使いや字形、筆脈に気をつけながら 、二字の バランスを考えて書く方法などを御指導いただきました、生徒たちは学んだ



ことを生かして、1年生は「月光」、2年 生は「自然」、3年生「青雲」という題字 で作品を書き上げました。ギターの授業で は、ギターの仕組みや構え方などの基本か

ら学び、最後には「少年時代」を演奏するまで上達しました。柔道の授業で は、礼儀作法に始まり、準備体操や、一つ一つの技を丁寧に御指導いただき ました。 柔道の基本である前回り受け身は,

最初は怖がっている生徒もいましたが,最後には体重移動の感覚を身に付け, しっかりと腕で床を叩くことができていました。

どの先生方も長年にわたり御指導をいただいていることから、住中生を 良く理解しており、それぞれの成長に合わせて、とても分かりやすく御指導 をいただいております。住中の特色ある教育活動として、これからも続け ていきたいと考えています。



住吉台学校運営協議会「中学生は地域を支える類もしい存在」

11月28日(月)に、第4回住吉台学校運営協議会が開催されました。最初に小中学校から、いじめに関 する実態調査報告があり、続いて住吉台地区の防災体制について熟議が行われました。中学校からは10月 16日(日)に実施した、地域合同防災訓練についての報告を行い、その中で、各町内会と中学生が連携し実 施した、安否確認訓練が大きな話題となりました。協議会委員からは、「昼間に大人が仕事でいないため、中学

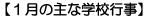
生は重要な戦力である」、「地域は高齢化が進み、75歳以上の方が 600 名以上いる。今後ますます、中学生の力が必要になる」、など の発言もあり、地域を支える頼もしい存在として、中学生に大きな 期待が寄せられていることを感じました。

今後も住中生が、地域の中で様々な活動を行い、地域の活性化の ために力を尽くすとともに、災害時には、助け合いにつなげていけ る取り組みを進めて行きたいと思います。





1・2 月の主な予定



6日(金)3年生登校日

8日(日)仙台市はたちの集い

9日(祝・月)成人の日

10日(火)全校実力考査 全校集会

11日(水)私立高校推薦入試 3年生午前授業

16日(月)仙台高専推薦入試

17日(火)かるた大会

薬物乱用防止教室(2学年)

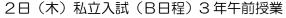
18日(水)新入生説明会(5・6校時)

20日(金) 職員会議(部活なし)

23日(月)~25日(水)(部活なし)

31日(火)私立入試(A日程) 3年生午前授業

【2月の主な学校行事】



6日(月)職員会議(部活なし)

8日(水)~14日(火)(部活なし)

9日(木) PTA運営委員会③

11日(祝・土)建国記念の日

12日(日)仙台高専一般入試

13日(月)2学期期末考査(給食なし) 学校運営協議会⑤

14日(火)2学期期末考査 民生委員懇談会

16日(木)生徒会専門員委員会

17日(金)生徒会中央委員会 住小授業参観

20日(月) 小中連携会議(部活なし)

22日(水) 職員会議(部活なし)

23日(祝•木)天皇誕生日

24日(金) 学年会議(部活なし)

27日(月)学年保護者会・学級懇談会(3学年)

